



学校紹介 ~その47~

職員研修会について

5月12日(月)、「道徳について」と題して職員研修会を実施しました。

講師として長年道徳教育について研究され、全国で勉強会や講演会を実施されている横山利弘先生をお招きいたしました。

横山先生は、道徳とは「心の教育」であり、物事に対する判断基準が多様化し、善悪がつきにくい現代社会における「共通した価値観」である、といわれます。そしてその「価値基準」の築き方や、教員と生徒との関わり方などについても話してくださいました。

日本道徳教育学会名誉会長

元関西学院大学教授

元文部省教科調査官

略歴

兵庫県生まれ。関西学院大学大学院文学研究科博士課程修了。名城大学教授、文部省初等中等教育局中学校課・高等学校課教科調査官(道徳、生徒指導、公民科倫理担当)、高知大学教授を経て、関西学院大学教授(2012年3月退職)。



著書



「道徳教育とは何だろうか」(出版:廣濟堂あかつき株式会社)

「道徳教育、画餅からの脱却」(出版:廣濟堂あかつき株式会社)他多数。

(横山利弘先生を囲む道徳教育研究会
<http://www.kinki-doutoku.com/yokoyama/yokoyama/> より)

今回の講演は、先生方にとって、生徒や社会に対する「立ち居振る舞い」のあり方や「考え方」「とらえ方」について再考する良い機会になったのではないかと思います。



就職者・進学者集会について

5月14日(水)に就職者・進学者集会を実施しました。

昨年度は就職者が17名、進学者が4年制大学5名、短大10名、専門学校13名という結果でした。それ以外の人も高校時代の仕事を継続している人がほとんどで、卒業後の進路が未定という人はきわめて少ない状況でした。

中でも進学に関しては、近畿大学や京都産業大学、龍谷大学等、



「難関」と呼ばれる大学に合格した人が複数あり、近年にない成果を上げることができました。

この日、進路指導部長から「進路実現は一朝一夕には行かない。仕事の都合もあるだろうが、遅刻欠席はできるだけ少なくする。学校が企画する勉強会には必ず参加する。学力を高めるために日常の授業を大切にする」など、日頃の積み重ねが大切だというお話がありました。



また、ご自身も定時制高校出身である城嶋先生から、高校時代の勉強法やモチベーションの保ち方など、大学進学に向けて必要な心構えについてのお話がありました。

7月の期末考査後には、本校の恒例行事である「卒業生を囲む会」が予定されています。就職試験対策や面接対策、仕事の様子等、経験者としての生の声を聞きたいと思います。



6月の行事予定



- 6月 2日(月) ……カウンセリング
4日(水) ……生活体験作文・生徒総会
生徒会選挙
9日(月) ……カウンセリング
12日(木) ……球技大会(ボウリング)
15日(日) ……全商珠算電卓実務検定試験
16日(月) ……カウンセリング
22日(日) ……全商簿記実務検定試験
23日(月) ……カウンセリング
25日(水) ……サイバー犯罪防犯講演会
就職状況調査
29日(日) ……全商ビジネス文書実務検定試験
30日(月) ……期末考査①
(7月4日まで)



編集後記

「ポケベル(1980年代)」から「携帯(1990年代)」、そして「スマホ(2007年頃)」へ。本来はビジネス目的で開発されたはずの携帯電話も、今や小学生が「携帯」する時代。ソフトの進化に情報リテラシーが追いつかないのも当然です。しかも、その虚を突くように巧妙に仕組まれるネット犯罪。いかにして子どもたちや私たち自身を守るか、実に悩ましい問題です。



その一助になればと、6月25日(水)に講演会を実施することになりました。講師は兵庫県警察本部サイバー犯罪対策課から派遣していただきます。詳細についてはこの紙面でお伝えしようと思います。ご期待ください。